

# ガートンズ 下ラプション フォーメーションへの道

個人と社会の架け橋

## 東京大学公開講座

第134回 2022年春季

5/28 SAT | GXの現在

6/ 4 SAT | GXと将来

6/18 SAT | GXと社会

**対象** 成人一般・大学生・高校生 **受講料** 各日2,100円(現地参加) / 無料(オンライン参加)

**定員** 各日200名(現地参加 安田講堂) / 各日3,000名(上限)(オンライン参加)

**申込方法** <https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html> よりお申込ください。

**お問合せ  
フォーム** [https://www.u-tokyo.ac.jp/contact/news\\_mail\\_j.php?dir=h-0301&sd=1](https://www.u-tokyo.ac.jp/contact/news_mail_j.php?dir=h-0301&sd=1)

●電話：03-3815-8345 (受付時間：平日9:00~12:00 / 13:00~17:00)  
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部社会連携推進課



※やむを得ない理由により、プログラムを休講する場合があります。予めご承知おきください。

第134回 2022年春季  
東京大学公開講座

## 開講にあたって



第134回東京大学公開講座  
企画委員会 委員長  
**堤 伸浩**  
(農学生命科学研究科長)

人類は、このまま今の生活を続けていけるのでしょうか?私達が直面している問題は、環境破壊、地球温暖化、資源枯渇、生物多様性の減少、産業廃棄物の増加、食品ロス、食料不足、水不足、そしてパンデミックと、枚挙にいとまがありません。このような地球上の課題が日々積み重なっていく中で、私達人類が存続するためには、これらの課題をいかに解決するかが何よりも重要なテーマであることは言うまでもありません。グリーン・トランスフォーメーション(GX)とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを発生させない社会構造に転換することを意味しています。その対象は化石燃料を利用した発電や動力のみならず、私たちの身の回りの多くの事柄が関連しています。自然の摂理に反することなく、地球環境を適切に管理し、次世代に引き継いでいくための変革として、社会も東京大学もGXを推進しようと掛け声をかけています。しかし、GXは、企業に対するトップダウンの施策としての面が強いうえ、経済性が低いという理由でその歩みは極めて遅いのが現状です。一日も早く、市民生活から地に足をつけたGXを始める必要があります。講義内容を見ていただければお分かりになるように、今日から何ができるのか、皆さんと一緒に考えるための話題を多方面から提供する内容を用意しておりますので、ぜひ気軽にご受講をお願いします。

# 5月28日(土)「GXの現在」

12:50 ~ 13:00 開講の挨拶 企画委員長 / 農学生命科学研究科長 堤 伸浩

13  
..  
00  
┆  
13  
..  
40

## カーボンニュートラルに向かう世界: 社会の変化と変革

未来ビジョン研究センター 教授  
高村 ゆかり

2050年頃に温室効果ガス排出実質ゼロを目指す動きが世界で加速しています。この急速でダイナミックな変化とその背景にある要因(科学、金融、技術)について考え、「変化」に対応し、持続可能な社会の実現にむかう日本の社会変革の課題を考えます。



13  
..  
55  
┆  
14  
..  
35

## GXを成功に導くためのイノベーションと社会実装

工学系研究科 教授  
松橋 隆治

本講座では、グリーン転換を実現させるための社会哲学の必要性から説き起こし、社会制度の設計と共に、必要とされるエネルギー関連の技術革新の例を紹介し、そして、これらの技術を社会実装するための要点についてお話しします。



14  
..  
50  
┆  
15  
..  
30

## 気候変動における海洋の役割

理学系研究科 教授  
升本 順夫

地球の環境や私たちの暮らしに関係する気候の変動は、大気と海洋、陸上の状況が複雑にからんだ結果として現れます。GXを進めるにあたり、気候変動を理解する重要性とその中の海洋の役割を考えます。



15  
..  
45  
┆  
16  
..  
35

## 総括討議

工学系研究科 教授  
脇原 徹

高村 ゆかり / 松橋 隆治 / 升本 順夫



# 6月4日(土)「GXと将来」

13  
..  
00  
┆  
13  
..  
40

## 人間と自然の関係の危機をめぐる難問

人文社会系研究科 教授  
古荘 真敬

今日、人間の活動そのものが地球規模の環境変化をもたらし、人類の存続をも危うくしていると言われることがあります。私たちには、今、人間と自然の関係、そして人類の存在そのものの意味について、どのような反省が求められているのでしょうか。



13  
..  
55  
┆  
14  
..  
35

## 持続可能な社会を支える生物多様性・生態系サービス

農学生命科学研究科 准教授  
橋本 禅

生物多様性はこれまで人類にさまざまな自然の恵みを提供してきましたが、急速な劣化を遂げつつあります。本講座では、持続可能な社会を支える上での生物多様性・生態系サービスの重要性、それらの現状や我々の生活とのつながりについて解説し、「ネイチャーポジティブ」な社会のあり方について探ります。



14  
..  
50  
┆  
15  
..  
30

## カーボンニュートラルなエネルギーシステム

先端科学技術研究センター 教授  
杉山 正和

カーボンニュートラル達成には、太陽光や風力などの再生可能電源を大量導入するほか、電力ではカバーできないエネルギー需要を担う燃料が必要で、水素はその最有力候補です。製造から消費まで脱炭素化された水素のサプライチェーン構築が求められています。



15  
..  
45  
┆  
16  
..  
35

## 総括討議

生産技術研究所 特任教授  
岩船 由美子

古荘 真敬 / 橋本 禅 / 杉山 正和



# 6月18日(土)「GXと社会」

13:00  
13:40  
13:55  
14:14  
14:35  
14:50  
15:15  
15:30  
15:45  
16:35

## 変革はどこから？ 個人の意思と協創は未来を変えられるか

農学生命科学研究科 准教授  
中西 もも



私たちの社会は持続可能な未来へと変わらなければなりません。では、変革への原動力はどこから来るのでしょうか？100年後の地球のために行動を起こせる科学者たち=One Earth Guardians を育成し、教育から社会を変えることを目指す農学発の取組み紹介を通じて考えます。

## GXの時代のものづくり 一価値創造デザインの視点から

生産技術研究所 教授  
山中 俊治



私と生産技術研究所の研究者たちは、まだ実用段階にない先端技術に形を与えることによって、科学者と市民がともに未来を創るための価値創造デザイン活動を推進しています。私たちの活動がGXに対してどのような貢献ができるのかを一緒に考えてみたいと思います。

## グリーントランスフォーメーションを先導する 高度人材育成 (SPRING GX) プログラムの取り組み

理学系研究科 教授  
大越 慎一



東京大学では、科学技術振興機構 (JST) の次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) 事業として、将来GX実現に向けて活躍する人材の育成を開始しました。本講座では、全分野の学生を対象としたこの博士課程学生支援プロジェクト SPRING GXについて紹介します。

## 総括討議

農学生命科学研究科 教授  
高橋 伸一郎



中西 もも / 山中 俊治 / 大越 慎一

16:35 ~ 16:45 閉講の挨拶 執行役・副学長 津田 敦

## 受講方法

現地参加 (安田講堂) とオンライン参加で申込方法や注意事項が異なります。  
次ページ以降の各参加方法の詳細を必ずご確認ください。お申込、受講をお願いします。

### 【現地参加 (安田講堂)】

- WEB申込・受講料お支払い
- 4月28日(木) 13時～  
各講義日の直近水曜日12時まで
- 定員: 各日200名

当日、安田講堂にお越しください。

### 【オンライン参加】

- WEB申込
- 4月28日(木) 13時～  
各講義日まで
- 定員: 各日3,000名 (上限)

当日、パソコン(推奨)またはスマートフォン・タブレットでご視聴ください。

# 受講申込方法

## 現地参加(安田講堂)

【受付期間】4月28日(木)13時～ 各講義日の直近水曜日12時まで

1日目:～5月25日(水)12時／2日目:～6月1日(水)12時／3日目:～6月15日(水)12時  
定員に達した場合、受付期間中でも締切になります。

【定員】各日:200名

【受講料】各日:2,100円

入金後の受講料は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により現地参加を取りやめとした場合を除いて返金できませんのでご注意ください。

【申込方法】インターネット・携帯サイトからのお申込のみとなります。

東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申込ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html>

(東京大学ホームページ → 社会連携 → 一般見学・公開講座案内 → 東京大学公開講座)

オンライン参加と間違えてお申ししないようご注意ください。

【支払方法】クレジット決済のみとなります。

クレジット決済のお支払い回数は、1回払いのみとなります。

1 東京大学公開講座のWebサイトから第134回公開講座申込「[こちら](#)」をクリックし、お申込画面に必要事項を入力  
のうえ、『クレジット決済』にチェックします。  
お申込内容をご確認のうえ、カード情報をご入力ください。



2 決済が完了しましたら、クレジット決済完了メールが届きます。



3 当日は、申込受付メールおよび氏名を確認できる身分証を持参し、会場での受付時にご提示ください。

身分証の例

運転免許証、運転経歴証明書、住民基本台帳カード、社員証、学生証、保険証、住民票、クレジットカード・キャッシュカード(氏名表記のあるもの)、公的料金証明書(支払い名義が本人のもの)など

東京大学公開講座のwebサイトに「[受講規約](#)」「[新型コロナウイルス感染症防止対策](#)」を掲載しておりますので、必ずご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、現地参加を中止することがあります。

この場合webサイトに掲載します。

## 【会場へのアクセス(現地参加のみ)】

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅／都営大江戸線 本郷三丁目駅／  
東京メトロ千代田線 湯島駅・根津駅／東京メトロ南北線 東大前駅



## オンライン参加

【受付期間】4月28日(木)13時～ 各講義日まで

定員に達した場合、受付期間中でも締め切る場合があります。

【定 員】各日:3,000名(現地会場には入場できませんので、ご注意ください。)

【受講料】無料

【申込方法】インターネット・携帯サイトからのお申込のみとなります。  
東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申込ください。  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html>  
(東京大学ホームページ → 社会連携 → 一般見学・公開講座案内 → 東京大学公開講座)  
現地参加と間違えてお申込をしないようご注意ください。

【視聴方法】Zoomウェビナーでの視聴となります。

- 1 東京大学公開講座のWebサイトからオンラインの第134回公開講座申込「こちら」ボタンをクリックいただき、必要事項を入力の上、お申込ください。
- 2 お申込が完了しましたら、受付完了メールが届きます。  
受付完了メール中に、各講座の視聴用URLが含まれていますので、当日まで大切に保管してください。
- 3 当日は、受付完了メール中の視聴用URLをクリックし、メールアドレスと表示名を入力の上、Zoomウェビナー上で講座にご参加ください。  
※Zoomウェビナーの使い方は、東京大学公開講座のWebサイトから、「参加のための事前準備(PDF)」をご参照ください。

# 案内・注意事項

## 共通

### ▶ 講義当日

現地開場は12時、オンライン開場は12時30分を予定しています。  
やむを得ない理由により、プログラムを休講する場合があります。

### ▶ 撮影・録音・録画

本講座の撮影(スクリーンショットを含む)・録音・録画および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。  
講演内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただきます。

## 現地参加

### ▶ キャンセル・返金

お申込後のキャンセルはできません。入金後の受講料は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、現地参加を中止とした場合を除いていかなる場合も返金できません。

### ▶ その他注意事項

講堂内でのお手荷物の紛失、盗難等について、主催者は一切責任を負いかねますので、受講者ご自身で管理をお願いいたします。  
講堂内での飲食はできません。また、会場内にゴミ箱はありませんのでゴミはお持ち帰りください。  
各講座日終了後2日以内にご本人が新型コロナウイルス感染症と診断された場合には、速やかに東京大学本部社会連携推進課(次ページ)までご報告ください。感染者情報および参加者状況として、受講者の名簿を大学の管理部門へ提出することがございますので、あらかじめご了承ください。  
現地会場では常時マスクを着用してください。マスクを着用しない場合や、現地会場での検温の際、37.5度以上の発熱をしている場合には入場をお断りいたします(受講料は返金できません)。  
障害等のため配慮が必要な場合は、開催日の3週間前までにご連絡ください。

## オンライン参加

### ▶ 通信環境

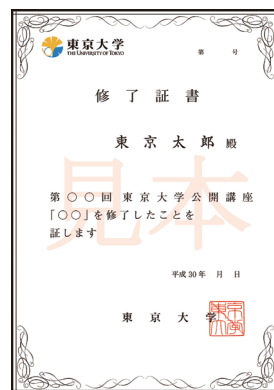
パソコン(推奨)または、スマートフォン、タブレットでご参加・ご視聴ください。スマホなどのモバイル通信では、通信量が膨大となり、高額な通信費用が発生する場合がございますので、必ずご自身の通信環境の契約内容をご確認のうえご参加ください。

# 修了証書

現地参加で2日以上申込された方には、ご希望により修了証書を交付します。

修了証書を希望される方は、お申込画面で「修了証書を希望する」にチェックのうえ、修了証書送付先の住所をご入力ください。

- ※オンライン参加については修了証書は交付できません。
- ※6月25日(土)の特別講座は、修了証書交付の対象ではありません。
- ※発送に1ヶ月以上かかります。何卒ご了承ください。



## よくあるご質問

### Q「 難易度はどのくらいですか? 」

公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。講義内容の多くは初心者でも分かるものですが、一部専門知識を有する方向けの内容も含まれます。

### Q「 修了証書はオンライン受講でももらえますか? 」

オンラインでの受講の場合は交付しておりません。現地参加で2日以上申込された方に交付しています。

### Q「 事前に申込をしていますが、受講できますか? 」

事前のお申込が必要です。東京大学公開講座のWebサイトからお申込ください。

### Q「 休講する場合がありますか? 」

台風などの荒天や交通機関のストライキ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトをご覧いただけない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることもあります。

### Q「 講座の内容を録音・録画・撮影することはできますか? 」

講座の録音・録画・撮影等は、固くお断りいたします。すべての講座ではありませんが半年以降に東大TV(<http://today.tv/>)でご視聴できます。

### Q「 Webサイトでの申込が難しいのですが、Webサイト以外で申し込むことはできますか? 」

今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、現地参加の定員を少なくしており、現地参加者数を管理するためにすべてWebサイトでの申込としております。他の方法でのお申込はできません。次回以降、コロナ禍前の生活に戻った際には、はがき申込の実施も検討いたします。

### Q「 現地参加の身分証として使えるものは何がありますか? 」

現地参加の受講申込方法をご覧ください。リストに記載のないものでも受講されるご本人の氏名が分かるものであれば、身分証として有効です。不明な場合は、お問合せください。

### Q「 友人や家族の分を申し込むことはできますか? 」

代理申込はご遠慮ください。トラブルの原因になりますので、原則、受講されるご本人がお申込ください。

お 問 合 せ

東京大学本部社会連携推進課

ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

03-3815-8345 受付時間：平日9:00～12:00／13:00～17:00

テレワークのため、電話に出られない場合があります。  
なるべくeメールでお問合せ願います。